

宇都宮商業會議所月報

第八拾參號

定價壹部金參錢
郵費壹部金五厘
廣告料廿二字時
一行金十錢○特
別廣告八三割増
約ハ一行金八錢
發行所 宇都宮市池町一丁目
宇都宮商業會議所
電話二五五
印刷所 宇都宮一保町七番地
電話三六五

宇都宮商業會議所明治四十二年度經費豫算

| 科 | 目 | 本年度 | 前年度 | 比較増減 | 備考 | |
|-----|-------|----------|----------|----------|------------|--------------------|
| 第一科 | 賦課金 | 二,三三,〇〇〇 | 二,八九,〇〇〇 | 減 四七,〇〇〇 | 賦課率輕減ノ結果減額 | |
| | 營業税金割 | 一,九三,〇〇〇 | 二,五〇,〇〇〇 | 減 五七,〇〇〇 | 賦課標準ヲ低下セシメ | |
| | 一人頭割 | 四九,〇〇〇 | 六九,〇〇〇 | 減 二〇,〇〇〇 | マシメテ | |
| | 雜收入 | 七四,〇〇〇 | 一五,〇〇〇 | 減 八三,〇〇〇 | 過年度徴收金少ナキニ | |
| | 雜收入 | 七四,〇〇〇 | 一五,〇〇〇 | 減 八三,〇〇〇 | 過年度徴收金少ナキニ | |
| | 合計 | 二,四六,〇〇〇 | 二,九七,〇〇〇 | 減 五一,〇〇〇 | | |
| | 第二科 | 經常費 | 二,四六,〇〇〇 | 二,七七,〇〇〇 | 減 三一,〇〇〇 | |
| | | 選舉費 | 三〇,〇〇〇 | 三〇,〇〇〇 | 増 〇 | 明治四十四年三月議員選舉執行ニ付要ス |
| | | 會議費 | 八五,〇〇〇 | 一〇,〇〇〇 | 減 七五,〇〇〇 | 前年度ノ實際ニ微シ減額 |
| | | 給與費 | 一,〇八,〇〇〇 | 一,〇八,〇〇〇 | 増 〇 | |
| 書記給 | | 七四,〇〇〇 | 七四,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| 備給 | | 二〇,〇〇〇 | 三三,〇〇〇 | 減 一三,〇〇〇 | 前年度豫算ニ同シ | |
| 賞與費 | | 〇 | 六〇,〇〇〇 | 減 六〇,〇〇〇 | | |
| 報酬費 | | 五五,〇〇〇 | 五五,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| 諸報給 | | 三〇,〇〇〇 | 三〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| 雜旅費 | | 一〇,〇〇〇 | 一〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| 第三科 | 旅費 | 一〇,〇〇〇 | 一〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 調查費 | 五〇,〇〇〇 | 五〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 通告費 | 一〇,〇〇〇 | 一〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 通信費 | 五五,〇〇〇 | 五五,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 消耗品費 | 八〇,〇〇〇 | 八〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 備品費 | 五〇,〇〇〇 | 五〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 備品費 | 五〇,〇〇〇 | 五〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 家屋費 | 一五,〇〇〇 | 一五,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 繕費 | 五〇,〇〇〇 | 五〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 火災保險料 | 八〇,〇〇〇 | 八〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| 第四科 | 地料 | 五五,〇〇〇 | 五五,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 庭園手入費 | 三〇,〇〇〇 | 三〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 印刷費 | 三〇,〇〇〇 | 三〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 印刷費 | 三〇,〇〇〇 | 三〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 雜費 | 一〇,〇〇〇 | 一〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 聯合會費 | 一〇,〇〇〇 | 一〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 實際費 | 一〇,〇〇〇 | 一〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 諸費 | 一〇,〇〇〇 | 一〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 豫備費 | 一〇,〇〇〇 | 一〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 臨時費 | 一〇,〇〇〇 | 一〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| 第五科 | 印刷費 | 一〇,〇〇〇 | 一〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 印刷費 | 一〇,〇〇〇 | 一〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 備品費 | 一〇,〇〇〇 | 一〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 備品費 | 一〇,〇〇〇 | 一〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 商品見本入 | 一〇,〇〇〇 | 一〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 戸棚調製費 | 一〇,〇〇〇 | 一〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 商品見本入 | 一〇,〇〇〇 | 一〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 購買費 | 一〇,〇〇〇 | 一〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 購買費 | 一〇,〇〇〇 | 一〇,〇〇〇 | 増 〇 | | |
| | 合計 | 二,四六,〇〇〇 | 二,九七,〇〇〇 | 減 五一,〇〇〇 | | |

歲出

歲入

公告

東西の飲食

▲西洋料理と日本料理 何れが良くつて何れが悪いと一概に云へない、物に一長一短あるは免れぬ、併し飲食するには物により冷たいのがよくつて、温ひのが悪い場合もあるが、多くの場合一定の温度は必要ぢや、此点より云ふと、西洋料理は何時食つても口に適合する温度のものが味へる、之れに反し日本料理は、大勢の宴會に於れば、程、温いものは食へぬ、ソコで眞の料理を味ふことが出来ぬ、殊に藝者や、女中の裾で、夥しい塵芥をあびさせられたものを味ふこともある、ソコへ行くと洋食は一皿つゝ出るから、ズット甘く食へる▲一體食慾と云ふものは、見たり聞たり又は嗅いだりして、起る場合が少くない今見る點より云ふと日本料理は成程美麗じや一寸食つて見たくある嗅ぐ方から比較しても日本料理は、西洋料理におさし劣りはせぬ、先づ五分でせう但し内容に至つては如何と云ふに、マア、大體の上より考へて西洋料理の方が優つてゐるやうぢや、兎に角に滋養に富んだものが多い▲ソコで或人が斯う云つた 日本料理は見る料理で味ふ料理ではないが、西洋料理は味ふ料理である、此は極端の話じやが多少の眞理はあるらしい、實際日本の料理は美的に出来てゐる、先づ黒塗の椀の中に、鮮やかな青菜と、今に割れさうな白色かやつた魚の身、又は赤薄く色取つた鯛の頭が浮んでゐる、皿の中には眞赤なまぐろの刺身と、眞白な大根とが美しく配合されてゐるやうに如何にも美術的じや、併しながら西洋料理は凡て油繪式にしつゝ出来てゐる、餘り見榮えはせぬ但し滋養的に工夫してゐることは、中々に馬鹿にあらぬ▲夫れと云ふのは、斯うだ英國には料理協會ある

海外在留本邦人数

外務省の調査に據れば四十一年十二月末日の海外各地在留本邦人左の如し

| 地名 | 不生産者 | 商人 | 労働者 | 其他 | 合計 |
|------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 清國 | 一八、四三三 | 三、五七二 | 一、七四一 | 一、九二六 | 二五、六七二 |
| 朝鮮 | 一、四四〇 | 五、六〇〇 | 四、八七二 | 三、二二二 | 一五、一三四 |
| 南洋 | 九一 | 九〇 | 二、〇五四 | 三、〇五〇 | 五、〇四五 |
| 暹羅 | 一、七四一 | 一、七四一 | 一、九二六 | 一、九二六 | 六、三三四 |
| 英領印度 | 一、七四一 | 一、七四一 | 一、九二六 | 一、九二六 | 六、三三四 |
| 馬尼刺 | 一、七四一 | 一、七四一 | 一、九二六 | 一、九二六 | 六、三三四 |
| 北米 | 一、七四一 | 一、七四一 | 一、九二六 | 一、九二六 | 六、三三四 |
| 加刺 | 一、七四一 | 一、七四一 | 一、九二六 | 一、九二六 | 六、三三四 |
| 伯刺 | 一、七四一 | 一、七四一 | 一、九二六 | 一、九二六 | 六、三三四 |
| 亞刺 | 一、七四一 | 一、七四一 | 一、九二六 | 一、九二六 | 六、三三四 |
| 秘刺 | 一、七四一 | 一、七四一 | 一、九二六 | 一、九二六 | 六、三三四 |
| 英刺 | 一、七四一 | 一、七四一 | 一、九二六 | 一、九二六 | 六、三三四 |
| 墨刺 | 一、七四一 | 一、七四一 | 一、九二六 | 一、九二六 | 六、三三四 |
| 佛刺 | 一、七四一 | 一、七四一 | 一、九二六 | 一、九二六 | 六、三三四 |
| 白刺 | 一、七四一 | 一、七四一 | 一、九二六 | 一、九二六 | 六、三三四 |
| 獨刺 | 一、七四一 | 一、七四一 | 一、九二六 | 一、九二六 | 六、三三四 |
| 瑞刺 | 一、七四一 | 一、七四一 | 一、九二六 | 一、九二六 | 六、三三四 |
| 伊刺 | 一、七四一 | 一、七四一 | 一、九二六 | 一、九二六 | 六、三三四 |
| 瑞刺 | 一、七四一 | 一、七四一 | 一、九二六 | 一、九二六 | 六、三三四 |
| 西刺 | 一、七四一 | 一、七四一 | 一、九二六 | 一、九二六 | 六、三三四 |
| 典刺 | 一、七四一 | 一、七四一 | 一、九二六 | 一、九二六 | 六、三三四 |
| 合計 | 三三、七二二 | 二七、九三三 | 二六、六六六 | 三三、七二二 | 一二二、〇四三 |

海外保險と國資の流出高

一年年我國内に於ける勢力を技殖しつつある外國保險會社の一昨年中に於ける事業概況を聞くに左の如し「農商務調査」

| 項目 | 金額 |
|------|-------|
| 會社數 | 二、三三 |
| 保費收入 | 一、〇〇〇 |
| 保費支出 | 八〇〇 |
| 其他支出 | 二〇〇 |
| 營業費 | 一〇〇 |

其の横内を徴重千仁愛共大帝明日

| 項目 | 金額 |
|-----|-------|
| 合計 | 一、〇〇〇 |
| ... | ... |

生命保険契約高

昨四十二年中に於て現在生命保険は二十八會社が募集したる新契約高は一億二千七百七十萬圓に上り此内死亡満期及解約に依る消滅高五千九百三十萬圓を控除し差引純増加六千八百四十萬圓あるが其年來に於ける現在契約高は五億四百三十八萬圓に上りたり今千萬圓以上の契約を有せる諸會社を表示すれば左の如し

| 會社名 | 契約高 |
|-----|-----|
| ... | ... |

驛都宮貨物調査表

| 品名 | 二月前 | 二月比 | 本年二月前 | 本年二月比 |
|-----|-----|-----|-------|-------|
| 粉穀 | ... | ... | ... | ... |
| 糖 | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... |

米國の美人船長

何處の國を見ても從來男子の專横特許であつた職業が漸次婦人の手に侵奪されて行く事は否定すべからざる現象であるが、然しその先驅を行くものは矢張突飛な米國婦人である。最近の紐育通信は此程美人船長が一人出来たとまで報じて居る。其お稱號を「トリス・ブート」夫人と云ふ。六ヶ敷試験を受けたが、數學にも地理にも天文學にも其他必須諸學科に悉く及第したので吾輩無類に遠洋航海の船長たるべき資格を領有する事となつたと云ふ。同夫人は今年の湖水開き其金満家の快活船の船長として乗込多年苦心の手腕を公衆のお目まげするの噂である

ものがあつて、現世皇后陛下が其會長をなさつてゐらつしやる、此一點より考ふるも如何に料理に重きを置いてゐるか伺はれる、そして此料理會では時々貴婦人方が相集まつて、料理に關する智識を交換するのみならず、時々家族同伴にて手から調理する事がある、思ふに西洋では人命を重んずること甚だしい従つて飲食に注意を拂ふことは、日本の比でない、自然料理の發達する譯けさ、此點に行くと日本はまだくです、勿論儀式式は大きに整つてゐるかも知れぬが、美的方面は兎に角に滋養的方面に於ける研究の餘地は充分十分あるものと思はれる

明治四十三年二月中執行したる事務左の如し

| 項目 | 件数 |
|--------|--------|
| 一 收受文書 | 百八十二件 |
| 一 發送文書 | 二百四十四件 |
| 一 雜件 | 五百五十六件 |
| 合計 | 三百六十二件 |

重要事項

- 一 明治四十三年度經費豫算及賦課徵收法認可を農務大臣へ申請す(二月一日)
- 一 栃木縣知事の儀裝標準諮問に對し答申す(二月一日)
- 一 對し納稅額の制限高きに失するを以て更に決議して申請すべき旨其筋より照會ありたるに付當分變更を見合す旨回答す(二月一日)
- 一 第十四師團經理部より糧秣價格調査に關し照會ありたるに付回答す(二月一日)
- 一 東京商業會議所より營業稅法改正案に對する審議の爲め臨時商業會議所聯合會を開會する旨通知に接す(二月一日)
- 一 材木町河合義八氏の囑託により大阪商業會議所へ「ラムネ」瓶製造所照會の處回答に接す(二月三日)
- 一 臨時商業會議所聯合會出席員選定の爲め役員會を開き決定せし人名を東京商業會議所へ通知す(二月三日)
- 一 營業稅法中改正案に關し貴衆兩院議長に請願書を内閣總理大臣及大藏大臣へ建議書を提出す(二月四日)
- 一 營業稅改正案に對し貴衆兩院へ請願したる本會議所の意見貫徹の爲め縣下選出各代議士へ依頼書を發す(二月八日)
- 一 名古屋商業會議所より全所に於て來四月十一日商業會議所聯合會開會に付議案回送せられ度旨照會に接す(二月九日)
- 一 宇都宮稅務署長より營業稅の件に關し意見を求められ上野會頭、田中副會頭、篠崎常議員稅務署へ出張す(二月十五日)
- 一 營業稅課稅標準申告方に關し一般營業者へ注意の爲め各町務委員へ通告す(二月十六日)
- 一 本多市長より煙草製造所急設陳情の爲め大藏省へ出張ありては本所より其陳情せられ
- 一 たしと交渉ありては本所より其陳情せられ
- 一 ありしを以て同行陳情する所ありたり(二月廿二日)
- 一 津商業會議所より營業稅課稅標準申告方に關し照會を受け回答す(二月廿六日)

Table listing prices for various goods such as cotton (美濃紙, 半紙), paper (中綿, 新聞用紙), and other commodities with columns for item name, unit, and price.

Table listing prices for various types of paper (紙) and other materials like stone (石), with columns for item name, unit, and price.

Table listing prices for various goods including rice (白米), oil (油), and other commodities with columns for item name, unit, and price.

Table listing prices for various types of paper (紙) and other materials like stone (石), with columns for item name, unit, and price.

字都官物價

(下) 落

比較

定期預金 六ヶ月以上年五分
別段當座預金 百圓ニ付日歩九厘
當座預金 百圓ニ付日歩八厘
貯蓄預金 年四分八厘

株式 宇都宮銀行

全 材木 (電話一三三番)
全 足尾 (電話四一〇番)
全 足尾出張所 (電話八番)

諸貸附割引、爲替、荷爲替、代金取立、總テ精々御便利ニ取扱可申候

圓万百貳金本資



株式 下野銀行

東京支店 東京市日本橋區横山町二丁目
日光支店 下野國日光町
下野國宇都宮市大工町
眞岡支店 下野國眞岡町
新石町支店 宇都宮市新石町

宇都宮商會所經費賦課徵收法
明治四十三年度

第一條 經費賦課ヲ分チテ營業稅割、第一種人頭割、第二種人頭割ノ三種トス

第二條 營業稅割ハ商業會議所法第九條第一項第一號第二號ニ該當スル議員選舉權者ニ營業稅納額千分ノ四十五ノ割合ヲ以テ之ヲ賦課ス

第三條 第一種人頭割ハ商業會議所法第九條第一項第一號第二號ニ該當スル議員選舉權者ニ左ノ區別ニ依リ之ヲ賦課ス

| | | |
|----|-----------------|-----|
| 一等 | 所得稅納額五百圓以上ノモノ | 金十圓 |
| 二等 | 所得稅納額二百五十圓以上ノモノ | 金七圓 |
| 三等 | 所得稅納額一百五十圓以上ノモノ | 金五圓 |
| 四等 | 所得稅納額一百圓以上ノモノ | 金三圓 |
| 五等 | 所得稅納額五十圓以上ノモノ | 金二圓 |
| 六等 | 所得稅納額二十圓以上ノモノ | 金一圓 |
| 七等 | 所得稅納額十圓以上ノモノ | 金五錢 |
| 八等 | 所得稅納額五圓以上ノモノ | 金二錢 |
| 九等 | 所得稅納額二圓以上ノモノ | 金一錢 |

第十條 第二種人頭割ハ商業會議所法第九條第三項ニ該當スル議員選舉權者ニ左ノ區別ニ依リ之ヲ賦課ス

第一等 所得稅納額五百圓以上ノモノ 金七圓
第二等 所得稅納額二百五十圓以上ノモノ 金五圓
第三等 所得稅納額一百五十圓以上ノモノ 金三圓
第四等 所得稅納額一百圓以上ノモノ 金二圓
第五等 所得稅納額五十圓以上ノモノ 金一圓
第六等 所得稅納額二十圓以上ノモノ 金五錢
第七等 所得稅納額十圓以上ノモノ 金二錢
第八等 所得稅納額五圓以上ノモノ 金一錢

第十二條 本年度經費ハ明治四十三年六月ヲ以テ之ヲ徵收ス

第十三條 經費ヲ徵收スルトキハ別紙甲號書式ニ依リ通告シ乙號書式ニ依リ領收證ヲ發ス

第十四條 前項ノ通告ハ納期五日前ニ發送スヘシ

第十五條 經費賦課額ニ厘位ヲ生シタルトキハ四捨五入ヲ以テ錢位ニ止ム

合名 安富銀行宇都宮支店

一、本店所在地 東京市日本橋區小舟町三丁目九番地
一、支店出張所 貳拾壹ヶ所
一、各地送金 無手数料

一、資本金 五百萬圓
一、積立金 三百餘萬圓
一、諸預金 二千六百餘萬圓

宇都宮市大工町四十八番地 (電話百五十番)

內外各種肥料 天

手塚豐吉

宇都宮市上河原町

電話二三一
電略(テツカ)又ハ(チ)

大阪硫磺株式會社製品特約販賣
關東酸曹株式會社製品特約販賣

各種取揃へ有之候ニ付御用命奉願上候
見本ハ御一報次第ニ早速御送可申上候

明保野は學理と實驗とに依テ醸造したる酒質醇良滋養豐富香味絶佳なる無比の一品にして夙に好酒諸賢の好評を博し販路日に將來益々酒質の改良に努むへし希くは倍舊の御引立あらんことを敬白

銘酒 明保野 釀造元 新部幸吉 (電話三六四番)

町瀬築市宮都宇

輕便洋食 壹品十三校均一

縣下 矢嘯のルホヤード 三笠軒

宇都宮市曲師町電話三六九番

此所好まき食堂あり

菊の友は原料を精撰し學理を應用し最も斬新なる釀造方法にし

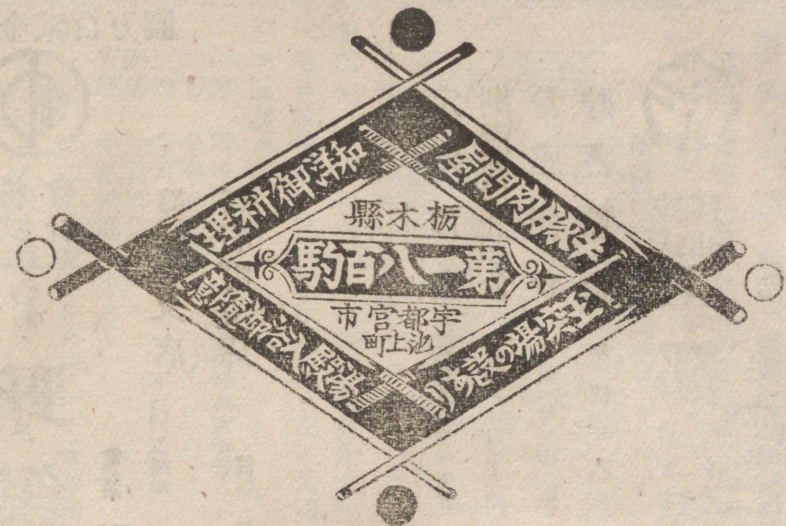
標商 菊乃友

千秋 專色多

て芳香佳味且つ廉價なり江湖の諸君奮て御試用あらん事を乞ふ

元 造 釀 木 折 吉 田 源 吉 頭

牛肉の原料は有名なる神
戸米澤豚肉は海外より特
種の者を選び品質精良
格低廉衛生経済富強兵
に缺可る日常食品の親玉



番六百七 番二百二 話電

和洋御料理及天麩羅原
は元濱方と特約日々新
のものを選み直輸入風
と衛生を重んじ御手輕
迅速は最も第一の特色

大谷石材販賣

宇都宮市川向町停車場前
大谷石商會

本 石材 坂本 仲
問屋 (電話四〇八番)

光力電燈より光強し

アセチリン瓦斯 石油ニ優
に光料カーバイト 危険ノ虞
其他機具一式 毫モナシ

御注文ニ應ジ取付其他点燈迄一切請負可申候御
一報次第店員出張萬事御協議可申候

肥料 麻 苧
藍 眞 繩

宇都宮市本郷町廿八番地
商號久喜屋

福田恒吉

電話 三〇六番
電略(クキヤ)又(キ)

館列陳店商澤關

- ▲宇都宮市の中央二荒山神社の坂下ゆへ土産物御求まは至極御便利であり升
- ▲獨立の勸工場にて市中無類第一の廉價正札附に致してあり升
- ▲流行品は他店に魁くるは申す迄もななく花客様にて御承知の筈であり升
- ▲品が善くて直が安
- ▲く有る品はゆる品は取揃てあります

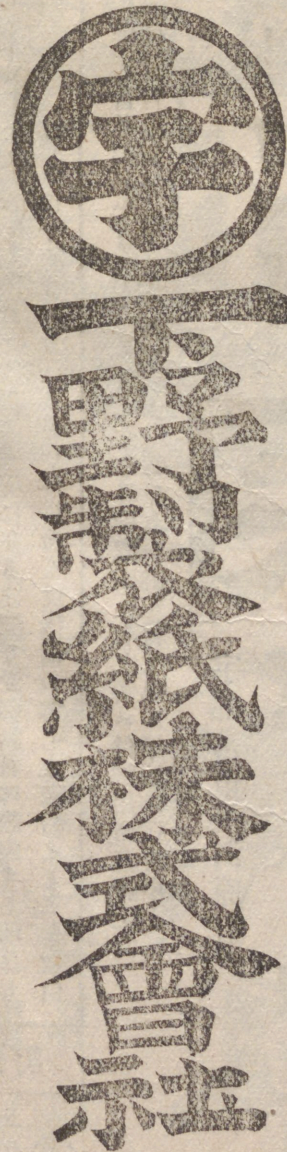


貨物、保管、荷爲取組
委託販賣、貨物貸附金



宇都宮市川向町
下野倉庫株式會社
電話 一四八番

本店 宇都宮市宿郷町三番地
電話二〇七番



支店 東京府北千住中組五八五番地
電話下谷一八八三番

株式會社 寶積寺銀行宇都宮支店

宇都宮市大工町五番地

| | | | |
|------|---|---|---|
| 定期預金 | 年 | 五 | 分 |
| 當座預金 | 日 | 九 | 分 |
| 別段預金 | 日 | 一 | 分 |

諸貸附割引爲替荷爲替代金取立確實ヲ旨トシ精々御便利ニ取扱申候

電話 三五番 電略(ホウ)

營業品目

藥品賣藥醫療器械
理化學器械
寫真器械附屬一式
コンデンスミルク特約店

宇都宮市馬場町
木村作次郎
電話一七番
日光中鉢石町
木村支店
電話百十一番

●海陸產肥料各種 宇都宮市石町
●入山石炭各驛一手販賣 針屋
●好間石炭各驛一手販賣 村上濱吉
●無煙炭各種大販賣 電話三三番

和紙卸高上油屋紙店
宇都宮市千手町
相場直三郎
電話(四)番

和紙、土佐、暖河、石見、美作等ノ産紙ハ悉ク全地直輸入ニ付中分地タル東京オクハ大坂ヲ手カラ
ス故ニ兩都ノ相場ニ相勉メ可申候。洋紙モ舶來紙ヲ始メ内地各製造會社ノ撰定ニ係ルモノ一切取揃有
之候ニ付和洋共出精販賣可仕候間御用命奉願ト候

諸建築木材供給受負

諸木材廉價販賣

諸建築工事請負業

業務擴張ノ爲メ從來ノ建具類賣場狹隘ヲ感シ肴町通ニ移轉仕候條
陸續御用命奉願候 電話一三八番

宇都宮市日野町
宇都賀屋木村店
篠崎安平

諸建築木材供給請負

諸木材戶障子廉價販賣

諸建築工事請負業

宇都宮市今小路町四番地
浪花清吉
電話三二一

博覽會進會共會進共會進共
大高評 日常ノ食料ト進
物用ニハ便利ニ
テ最モ廉價ナリ



製造元

宇都宮市田町
小杉製麵合名會社
電話(四)番

領受狀褒ヲ於
小杉製麵 品質純良ニシテ
風味ノ美ナルハ
弊社ノ特長ナリ